

自然環境整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	対象地域	西中国山地国定公園(牛小屋高原集団施設地区)	面積	15,389	ha
-------	-----	------	------------------------	----	--------	----

計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度
------	---------------------

目標

大目標:『安全・安心で快適な施設の提供による自然とのふれあいの推進』
 目標:牛小屋高原集団施設地区公園道(車道)の再整備を行い、利用者の安全性・快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

対象地域の現状

・牛小屋高原集団施設地区は県内最高峰の恐羅漢山東側山麓に位置し、野営場、スキー場、道路(車道・歩道)、駐車場等施設を配し、各施設の利用、また恐羅漢山登山や周辺エリアへのトレッキング等の拠点として年間を通じて多くの利用者が訪れている。しかしながら、地区内の主要道路で、野営場、スキー場に通じる唯一のアクセス道である公園道(車道)については、離合のための待避所、カーブミラー等が不足している上、近年舗装等の傷みが激しく、通行車両がバンクするなど利用上支障を来している。

課題

・牛小屋高原公園道(車道)については、野営場、スキー場等の当地区施設利用のための基幹道であるため、その利用性、安全性向上のため、待避所、安全施設の設置、舗装などの再整備を行う必要がある。

将来像(ビジョン)

・公園道(車道)の再整備により地区内のスムーズな移動を可能とし、活発な利用を促進させ、当地区への来訪者が増加すること。
 ・恐羅漢山周辺の雄大な自然とのふれあいが活発に推進され、地域の活性化に貢献すること。

上位計画等との整合

公園計画での整備方針に適合している。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
					基準年度	目標年度
牛小屋高原集団施設地区利用者数	人/年	牛小屋高原集団施設地区の利用者数	利用状況調査	当集団施設地区の多様な利用促進の指標とし、現行より5%程度の利用者の増加を目指す。	89,000	93,450
					平成20年度	平成24年度

整備計画の評価

整備終了後、設定した指標に係るデータを整理し、目標の達成状況に関する評価を行い、平成25年度にインターネット等を活用して公表する。

自然環境整備計画の整備方針等

対象地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
<p>整備方針(公園道の再整備により、利用の安全性・快適性の向上)</p> <p>・公園道の待避所、安全施設の設置、舗装等の改良を行い、牛小屋集団施設地区の快適な利用向上を図る。</p>	<p>(西中国山地国定公園) 牛小屋高原公園道改良事業 ・公園道(車道)の改良(県)</p>
<p>環境配慮の方針</p> <p>・公園道(車道)の再整備において使用する舗装材、砕石、コンクリートなどの材料については、再生材を積極的に利用する。</p>	
<p>高齢者、身体障害者等の円滑な利用に対する措置</p>	
<p>合意形成の状況・方針</p> <p>・整備方針については、関係市町、関係団体及び関係者との協議を行い、計画を策定した。</p>	
<p>その他</p> <p>・整備計画については広島県のホームページにより公表する。 ・整備施設については、広島県が管理する。</p>	